# 高濃度ビタミンC点滴について

マリヤ・クリニックは、日本で最初に高濃度ビタミンC点滴を始めた医療機関です。アメリカの高濃度ビタミンC点滴の第一人者であるリョーダン医師から指導を受けて、2001 年から治療用ビタミンCを米国より輸入し、がん患者さんへの点滴を行っています。副作用がほとんどなく、体に負担のかからないこの治療法を、治療の選択肢の一つとして現在がんに苦しんでいるより多くの患者さんへ提供できればと考えております。

また、ビタミンCには抗がん作用以外にも様々な働きがあることから、高濃度ビタミンC点滴はがん 治療のためだけでなく、以下のような目的でのご利用もお勧めしております。

# \* 高濃度ビタミン C 点滴で期待できること \*

## ●免疫力の向上

免疫細胞を活性化し、風邪などの感染症を予防し、感染した場合の回復を早めます。

## ●創傷の修復

炎症を抑える作用があり、やけどや術後の傷などの回復を早めます。

当院では、上腕と前腕部に熱傷を起こし水疱が大きく出現した方に、23gのビタミンC点滴を行いました。すると翌日に水疱が消失したという事例があります。

### ●疲労の回復

脂肪をエネルギーに変える働きを促し、疲労回復を早めます。

## ●うつ症状の回復

ストレスを受けると、副腎からストレスと戦うためのホルモンが分泌されます。 副腎にはビタミン C が最も高濃度で存在しているためストレスによるうつ症状 の回復を早めます。

## ●コラーゲンの生成

コラーゲンを生成する働きがあります。健康な皮膚や血管、筋肉、 骨などにはコラーゲンが必要です。

#### ●解毒機能の強化

水銀やヒ素などの有害物質を尿から排泄させる働きがあります。

# ★治療について

#### 【がん治療の方】

ビタミン C の血中濃度が 400mg/dl 以上を継続できるようにしていきます。 詳しくは、 当院 HP より「がん治療のための超高濃度ビタミン C 点滴について」の資料をご参照ください。

## 【がん治療以外の方】

必要に応じて23g~50gのビタミンC点滴を行います(※25g以上の点滴ではG6PD検査が必要)。

## ★高濃度ビタミン C 点滴の流れ

#### 1)診察

はじめに、診察の中で症状や生活状況等について確認します。診察後、看護師から説明があります。

#### ②点滴室へ移動

長時間の点滴となるため、専用の部屋にベッドやリクライニングチェアを用意しています。

#### ③点滴開始

ゆったりと過ごして頂きながら時間をかけて点滴を行います。一般的な点滴と同様に、点滴をしている 間、トイレや読書、水分補給等は自由に行えます。

## \*点滴当日の注意事項\*

- ・点滴の針は腕に刺すため、腕を出しやすい服装でお越しください。
- ・点滴中は喉が渇きやすいため、積極的な水分補給をお勧めします。また、利尿作用により排尿回数が 増加するため、点滴中でもトイレに行きやすい服装でお越しください。
- 空腹状態で点滴を受けると低血糖症状(頭痛、めまい、動悸、倦怠感など)が起こる可能性があります。お食事を摂ってからご来院いただくか、点滴中に手軽に摂れる軽食をご持参ください。



## ★点滴の時間と料金の目安 (2023.5.29 現在)

ビタミンCの量	~25g	50g
点滴時間 ※1	50分	100分
料金(税込)※2	11,330円	23,870円

- ※1 上記の時間は点滴のみの時間の目安です。診察、検査、点滴前の準備等に 15 分前後の時間がかかりますので、お時間には十分余裕を持ってお越しください。
- ※2 上記の料金はビタミンC点滴薬剤料を含めた金額です。高濃度ビタミンC点滴は医療保険が適用 されませんので自費診療となります。上記の料金のほか、必要に応じて診察料・検査料等がかかる 場合があります。

#### \*ご注意\*

- 高濃度ビタミンC点滴は現在、米国および日本国内において医療の標準として広く認められた治療ではありません。
- 治療に使用するビタミンCは、院長 柏崎良子が治療研究用に輸入したもので厚生労働省の許可を受けている医療品ではありません。よって確実な治療効果を約束できるものではありません。また、なんらかの事故が起きた場合にも厚生労働省に責任を追及することはできません。

## ★副作用について

重篤な副作用の報告はありませんが、以下のような副作用が起こる場合があります。

- <u>下痢・嘔吐</u>…点滴中の浸透圧が高い場合、吐き気がおこることがあります。また、点滴中に血管から胃腸にしみでたビタミンCにより胃腸壁が刺激を受け、下痢になる場合があります。
- <u>低力ルシウム血症</u>…ビタミン C が排泄される時に水分と共にカルシウムやマグネシウムなどのミネラルも一緒に排泄されます(高浸透圧利尿)。低カルシウム血症では震えが起こることがありますので、50g以上の点滴を行う場合は、点滴中にカルシウム製剤・マグネシウム製剤を併用します。
- <u>溶血</u>…G6PDという酵素の働きが弱い方は高濃度ビタミン C 点滴により溶血を起こす可能性があります。そのため、25g以上の点滴を希望する場合は点滴前に G6PD 検査(税込 11,000 円)を行います。
- がんの壊死による出血…極めて稀に起こることがあります。
- その他…点滴により体内でビタミンC濃度の高い腎臓、副腎、脳、胃、血球などの臓器の活動が活発になります。特に副腎からアドレナリンというホルモンがたくさん分泌されると、<u>動悸や手足のしびれ、筋肉の緊張や痛み、震え、不眠</u>などが起こることがあります。また、<u>点滴部位の痛みや血管痛</u>が起こることがあります。点滴中にこれらの症状が起こった場合は、ナースコールにてお知らせください。点滴の速度を緩めたり、温めたりすることで症状は少しずつ緩和されてゆきます。

# ★高濃度ビタミンC点滴に適さない方

- ビタミンCに対し過敏性のある方
- ・腎機能の弱い方、透析中の方
- ・心不全の方
- G6PD 欠損症の方(25g以上の点滴をご希望の場合、初回点滴前に G6PD 検査を行います)

# ★ビタミン C 点滴・内服によるその他の作用

抗酸化	老化の原因となる活性酸素を除去し、抗老化・美容に重要
抗動脈硬化	降圧、降コレステロール、抗中性脂肪、血栓予防、血管強化、血流増加
血糖調節向上	インスリン受容体の感度を上げ糖尿病改善に寄与
抗アレルギー	ヒスタミンの働きを抑え副腎の機能を高めることで、ぜんそく・花粉症・アトピー
	性皮膚炎などのアレルギー症状改善に寄与
利尿	尿量増加、毒素排泄
滋養強壮	副腎の機能を支え代謝を促すことで疲労回復を助ける
鎮痛	プロスタグランジン E2 の生成を低下させ抗炎症に働く
体温上昇	代謝を上げ血流を良くして冷え性の改善に寄与
脳機能改善	抗うつ、抗不安、鎮静、認知症予防、知能改善